

Ⅱ 調査結果の概要

注) 文中において、今期、前期、来期については、特に説明がない限り、以下の時期である。

- 前期 平成26年 10月～平成27年 3月期
- 今期 平成27年 4月～平成27年 9月期
- 来期 平成27年 10月～平成28年 3月期

1. 景況天気図

【業況判断(全体)】

	H27年4～6月期(実績)	H27年7～9月期(見込み)	H27年10～12月期(見通し)	H28年1～3月期(見通し)
全体				
BSI	(▲24.2)	(▲25.4)	(▲22.9)	(▲28.3)

【従業者規模別】

	H27年4～6月期(実績)	H27年7～9月期(見込み)	H27年10～12月期(見通し)	H28年1～3月期(見通し)
4人以下				
BSI	(▲39.4)	(▲41.4)	(▲36.3)	(▲40.2)
5人～19人				
BSI	(▲21.6)	(▲21.6)	(▲16.8)	(▲25.5)
20人以上				
BSI	(▲11.4)	(▲13.1)	(▲15.4)	(▲19.1)

【業種別】

	H27年4～6月期(実績)	H27年7～9月期(見込み)	H27年10～12月期(見通し)	H28年1～3月期(見通し)
製造業計				
BSI	(▲21.6)	(▲25.1)	(▲26.4)	(▲32.0)
非製造業計				
BSI	(▲25.0)	(▲25.5)	(▲21.9)	(▲27.3)
建設業				
BSI	(▲25.6)	(▲24.6)	(▲17.2)	(▲30.9)
運輸・通信業				
BSI	(▲10.5)	(▲9.7)	(▲11.3)	(▲20.2)
卸・小売業				
BSI	(▲24.6)	(▲31.6)	(▲25.1)	(▲26.3)
飲食・宿泊業				
BSI	(▲45.3)	(▲46.1)	(▲35.9)	(▲33.3)
サービス業				
BSI	(▲22.0)	(▲19.9)	(▲22.0)	(▲25.9)

※ 各期のBSIが前期と比べて10ポイント以上の差が生じた場合には、矢印を表記している。

【凡例】

天気 マーク						
BSI水準	(30.1～)	(10.1～30.0)	(▲10.0～10.0)	(▲10.1～▲30.0)	(▲30.1～▲50.0)	(▲50.1～)

2. 調査結果の総括

新潟市内事業所の「業況判断」について、平成27年4～6月期は前期（同1～3月期）から改善したが、続く7～9月期はやや悪化した。先行きについてみると、同10～12月期は緩やかに回復する見通しだが、28年1～3月期は再び悪化する見通しとなっている。

今期における他の主要項目のBSIをみると、「生産・売上」は上昇した。「資金繰り」は改善した。「受注」、「出荷量」、「販売価格」は前期と同水準で推移した。「在庫水準」は製・商品、原材料とも過剰超となった。「仕入価格」は低下した。

経営上の問題については、「人材不足」の割合が最も高く、以下「生産・受注・売上げ不振」、「仕入価格の上昇」と続いている。

業界の動向については、インバウンド需要の取り込みや新商品の売上増加などにより、業況が改善したとの声がある一方、受注競争の激化や人件費及び仕入価格の上昇による採算悪化を要因として、業況悪化を懸念する声が数多くあった。

3. 新潟市景況調査結果（BSI）の総括表

1. 業況 P. 12～	<ul style="list-style-type: none"> 27年4～6月期の業況感を示した業況BSI（「良い」－「悪い」）は▲24.2と、同1～3月期の▲31.4から7.2ポイント改善した。続く27年7～9月期は▲25.4と、やや悪化した。 先行きについてみると、同10～12月期は▲22.9となり、緩やかに回復する見通しだが、28年1～3月期は▲28.3と、再び悪化する見通しとなっている。
2. 生産・売上 P. 20～	<ul style="list-style-type: none"> 今期の生産・売上BSI（「増加」－「減少」）は▲17.5と、前期（▲20.1）から2.6ポイント上昇した。来期も▲16.2と、引き続き緩やかに上昇する見通しとなっている。
3. 受注 (製造業・建設業のみ) P. 25～	<ul style="list-style-type: none"> 今期の受注BSI（「増加」－「減少」）は▲22.3と、前期（▲21.7）とほぼ同水準で推移した。来期は▲24.4と、低下する見通しとなっている。
4. 出荷 (製造業のみ) P. 28～	<ul style="list-style-type: none"> 今期の出荷量BSI（「増加」－「減少」）は▲17.3と、前期（▲17.0）とほぼ同水準で推移した。来期は▲15.6と、上昇する見通しとなっている。 今期の出荷額BSI（「増加」－「減少」）は▲18.6と、前期（▲21.8）から3.2ポイント上昇した。来期は▲16.4と、さらに上昇する見通しとなっている。
5. 在庫水準 (原材料在庫は製造業のみ) P. 33～	<ul style="list-style-type: none"> 製・商品在庫BSI（「過剰」－「不足」）は2.7と、前期(1.9)とほぼ同水準で推移した。来期については1.5と、過剰超幅が縮小する見通しとなっている。 今期の原材料在庫BSI（「過剰」－「不足」）は2.6と、前期(2.9)とほぼ同水準で推移した。来期は1.7と、過剰超幅が縮小する見通しとなっている。
6. 価格 P. 41～	<ul style="list-style-type: none"> 今期の仕入価格BSI（「上昇」－「低下」）は28.9と、前期(31.4)から2.5ポイント低下した。来期については22.8と、さらに低下する見通しとなっている。 今期の販売価格BSI（「上昇」－「低下」）は▲1.6と、前期(▲1.2)とほぼ同水準で推移した。来期は▲1.7と、引き続き同水準で推移する見通しとなっている。
7. 資金繰り P. 51～	<ul style="list-style-type: none"> 今期の資金繰りBSI（「好転」－「悪化」）は▲14.5と、前期（▲16.3）から1.8ポイント改善した。来期は▲12.7と、引き続き改善する見通しとなっている。

<p>8. 雇用 P. 56～</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 27年度の雇用BSI(正社員の数) (「増加」－「減少」) は0.0と、26年度(▲1.6)から1.6ポイント上昇した。28年度は3.7と、本調査開始以降、初めてプラスに転じる見通しとなっている。 ・ 27年度の臨時・パート社員等の雇用BSI(増加－減少) は0.5と、26年度(▲2.2)から2.7ポイント上昇し、マイナスからプラスに転じた。28年度は0.5と、横ばいで推移する見通しとなっている。 ・ 今期の所定外労働時間BSI(「増加」－「減少」) は▲3.7と、前期(▲2.6)から1.1ポイント低下した。来期は▲0.5と、3.2ポイント上昇する見通しとなっている。 ・ 今期の一人当たり人件費BSI(「増加」－「減少」) は19.8と、前期(21.1)から1.3ポイント低下した。来期は17.4と、引き続き低下する見通しとなっている。
<p>9. 設備投資動向 P. 76～</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今期の生産設備BSI(「過剰」－「不足」) は▲5.2と、前期(▲7.6)から2.4ポイント低下し、不足超幅が縮小した。来期は▲5.6と、今期とほぼ同水準で推移する見通しとなっている。 ・ 今期の営業用設備BSI(「過剰」－「不足」) は▲4.2と、前期(▲3.9)とほぼ同水準で推移した。来期は▲3.6と、引き続き同水準で推移する見通しとなっている。 ・ 27年度における設備投資の実施事業所割合(実績見込み) は19.5%と、前年度より2.6ポイント上昇した。来年度は12.8%と、低下する見通しとなっている。 27年度の設備投資目的としては、「既存機械・設備の入れ替え」が57.6%と、最も高くなっている。
<p>10. 経営上の問題 P. 85～</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 経営上の問題については(複数回答)、「人材不足」(40.2%)の割合が最も高く、以下「生産・受注・売上げ不振」(34.1%)、「仕入価格の上昇」(32.9%)と続いている。

<p>4. 業種別 新潟市景況調査結果 (BSI) の総括表</p>	
<p>製造業</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 27年4～6月期の業況判断BSIは▲21.6と、前期(▲32.7)から11.1ポイント上昇したが、続く同7～9月期は▲25.1と低下に転じた。先行きについてみると、同10～12月期は▲26.4、28年1～3月期は▲32.0と、低下する見通しとなっている。 ・ 今期の生産・売上BSIは▲22.5と、前期(▲18.5)から4.0ポイント低下した。来期は▲20.3と、上昇に転じる見通しとなっている。 ・ 今期の受注BSIは▲21.6と、前期(▲19.0)から2.6ポイント低下した。来期は▲19.5と、上昇に転じる見通しとなっている。 ・ 今期の製・商品在庫BSIは3.9と、前期(4.8)からほぼ同水準で推移した。来期は2.2と、過剰超幅が縮小する見通しとなっている。 ・ 今期の仕入価格BSIは40.3と、前期(37.9)から2.4ポイント上昇した。今期の販売価格BSIは▲4.8と、前期(▲5.2)からほぼ同水準で推移した。 ・ 今期の資金繰りBSIは▲14.3と、前期(▲20.4)から6.1ポイント改善した。来期は▲14.7と、ほぼ同水準で推移する見通しとなっている。 ・ 27年度における設備投資の実施事業所割合(実績見込み) は31.7%と、前年度実績(26.1%)から上昇した。 ・ 経営上の問題については(複数回答)、「仕入価格の上昇」(49.4%)の割合が最も高く、以下「生産・受注・売上げ不振」(44.2%)、「人材不足」(35.5%)と続いている。

<p>非製造業 計</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 27年4～6月期の業況判断BSIは▲25.0と、前期（▲31.1）から6.1ポイント上昇したが、続く同7～9月期は▲25.5と低下した。先行きについてみると、同10～12月期は▲21.9と上昇に転じ、28年1～3月期は▲27.3と、再び低下する見通しとなっている。 ・ 今期の生産・売上BSIは▲16.0と、前期（▲20.5）から4.5ポイント上昇した。来期は▲15.0と、ほぼ同水準で推移する見通しとなっている。 ・ 今期の仕入価格BSIは25.7と、前期（29.7）から4.0ポイント低下した。今期の販売価格BSIは▲0.7と、前期（▲0.1）とほぼ同水準で推移した。 ・ 今期の資金繰りBSIは▲14.5と、前期（▲15.2）とほぼ同水準で推移した。来期は▲12.2と、改善する見通しとなっている。 ・ 27年度における設備投資の実施事業所割合（実績見込み）は19.9%と、前年度実績（17.9%）から上昇した。 ・ 経営上の問題については（複数回答）、「人材不足」（41.6%）の割合が最も高く、以下「生産・受注・売上げ不振」（31.3%）、「仕入価格の上昇」（28.4%）と続いている。
<p>建設業</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 27年4～6月期の業況判断BSIは▲25.6と、前期（▲26.4）とほぼ同水準で推移し、続く同7～9月期は▲24.6と、引き続き同水準で推移した。先行きについてみると、同10～12月期は▲17.2と上昇するが、28年1～3月期は▲30.9と、4期ぶりに低下する見通しとなっている。 ・ 今期の生産・売上BSIは▲23.6と、前期（▲19.6）から4.0ポイント低下した。来期は▲23.5と、同水準で推移する見通しとなっている。 ・ 今期の受注BSIは▲23.1と、前期（▲24.5）から1.4ポイント上昇した。来期は▲30.4と、低下に転じる見通しとなっている。 ・ 今期の仕入価格BSIは16.8と、前期（35.8）から19.0ポイント低下した。今期の販売価格BSIは▲12.5と、前期（▲3.0）から9.5ポイント低下した。 ・ 今期の資金繰りBSIは▲14.6と、前期（▲6.4）から8.2ポイント悪化した。来期は▲14.2と、ほぼ同水準で推移する見通しとなっている。 ・ 27年度における設備投資の実施事業所割合（実績見込み）は19.3%と、前年度実績（15.0%）から上昇した。 ・ 経営上の問題については（複数回答）、「人材不足」（45.0%）の割合が最も高く、以下「生産・受注・売上げ不振」（44.5%）、「労働力不足」（33.0%）と続いている。
<p>運輸・通信業</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 27年4～6月期の業況判断BSIは▲10.5と、前期（▲13.1）から2.6ポイント上昇し、続く同7～9月期は▲9.7とさらに上昇した。先行きについてみると、同10～12月期は▲11.3と低下に転じ、28年1～3月期は▲20.2と、引き続き低下する見通しとなっている。 ・ 今期の生産・売上BSIは▲7.3と、前期（0.7）から8.0ポイント低下し、プラスからマイナスに転じた。来期は▲8.9と、さらに低下する見通しとなっている。 ・ 今期の仕入価格BSIは3.2と、前期（7.7）から4.5ポイント低下した。今期の販売価格BSIは3.3と、前期（7.7）から4.4ポイント低下した。 ・ 今期の資金繰りBSIは▲3.3と、前期（▲5.4）から2.1ポイント改善した。来期は0.8と、プラスに転じる見通しとなっている。 ・ 27年度における設備投資の実施事業所割合（実績見込み）は28.2%と、前年度実績（33.6%）から低下した。 ・ 経営上の問題については（複数回答）、「人材不足」（53.2%）の割合が最も高く、以下「労働力不足」（34.7%）、「生産・受注・売上げ不振」（23.4%）と続いている。

非 製 造 業	卸・小売業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 27年4～6月期の業況判断BSIは▲24.6と、前期（▲42.7）から18.1ポイント上昇したが、続く同7～9月期は▲31.6と低下した。先行きについてみると、同10～12月期は▲25.1と上昇に転じ、28年1～3月期は▲26.3と、再び低下する見通しとなっている。 ・ 今期の生産・売上BSIは▲14.6と、前期（▲37.0）から22.4ポイント上昇した。来期は▲13.5と、さらに上昇する見通しとなっている。 ・ 今期の仕入価格BSIは39.8と、前期（22.3）から17.5ポイント上昇した。今期の販売価格BSIは8.7と、前期（▲4.5）から13.2ポイント上昇し、マイナスからプラスに転じた。 ・ 今期の資金繰りBSIは▲15.8と、前期（▲24.9）から9.1ポイント改善した。来期は▲11.1と、さらに改善する見通しとなっている。 ・ 27年度における設備投資の実施事業所割合（実績見込み）は15.8%と、前年度実績（16.6%）から低下した。 ・ 経営上の問題については（複数回答）、「競争の激化」（41.5%）の割合が最も高く、以下「人材不足」（39.8%）、「仕入価格の上昇」（37.4%）と続いている。
	飲食・宿泊業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 27年4～6月期の業況判断BSIは▲45.3と、前期（▲40.2）から5.1ポイント低下し、続く同7～9月期は▲46.1とさらに低下した。先行きについてみると、同10～12月期は▲35.9と上昇に転じ、28年1～3月期は▲33.3と、さらに上昇する見通しとなっている。 ・ 今期の生産・売上BSIは▲28.2と、前期（▲17.7）から10.5ポイント低下した。来期は▲12.9と、上昇に転じる見通しとなっている。 ・ 今期の仕入価格BSIは56.4と、前期（54.2）から2.2ポイント上昇した。今期の販売価格BSIは2.5と、前期（5.7）から3.2ポイント低下した。 ・ 今期の資金繰りBSIは▲33.3と、前期（▲29.0）から4.3ポイント悪化した。来期は▲21.4と、改善に転じる見通しとなっている。 ・ 27年度における設備投資の実施事業所割合（実績見込み）は10.1%と、前年度実績（7.8%）から上昇した。 ・ 経営上の問題については（複数回答）、「仕入価格の上昇」（65.0%）の割合が最も高く、以下「人材不足」（41.0%）、「生産・受注・売上げ不振」（35.0%）と続いている。
	サービス業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 27年4～6月期の業況判断BSIは▲22.0と、前期（▲33.5）から11.5ポイント上昇し、続く同7～9月期は▲19.9とさらに上昇した。先行きについてみると、同10～12月期は▲22.0と低下に転じ、28年1～3月期は▲25.9と、さらに低下する見通しとなっている。 ・ 今期の生産・売上BSIは▲9.5と、前期（▲23.6）から14.1ポイント上昇した。来期は▲13.8と、低下に転じる見通しとなっている。 ・ 今期の仕入価格BSIは19.4と、前期（30.6）から11.2ポイント低下した。今期の販売価格BSIは▲1.7と、前期（▲2.0）からほぼ同水準で推移した。 ・ 今期の資金繰りBSIは▲9.9と、前期（▲15.8）から5.9ポイント改善した。来期は▲13.8と、悪化に転じる見通しとなっている。 ・ 27年度における設備投資の実施事業所割合（実績見込み）は23.3%と、前年度実績（17.2%）から上昇した。 ・ 経営上の問題については（複数回答）、「人材不足」（34.1%）の割合が最も高く、以下「競争の激化」（26.7%）、「生産・受注・売上げ不振」（24.1%）と続いている。